

同時資料配布先:

経済産業記者会

エネルギー記者会

学研都市記者クラブ

2022年12月2日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCS テクニカルワークショップ 2023 ～ 研究開発から実用化への推進 ～ 開催について

当技術研究組合は、大規模発生源から分離回収した二酸化炭素（CO₂）を地下深部に貯留する CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）に関するワークショップを 2023 年 1 月 24 日（火）に開催いたします。

CCS は、地球温暖化対策の有効な手段として期待されています。当技術研究組合では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの「安全な CCS 実施のための CO₂ 貯留技術の研究開発」に係る委託事業において、CO₂ 地中貯留の実用化に向けた技術開発に取り組んでいます。

2022 年 1 月に「CCS 長期ロードマップ検討会」が設置され、CCS の実用化・普及に向けてロードマップの策定が進められています。5 月に中間とりまとめが公表され、現在、CCS バリューチェーン全体での現状コストと将来のコスト目標、政府支援のあり方、並びに CCS 事業の国内法整備に向けた課題等について、具体的な検討が行われており、実用化が加速しています。そこで、本ワークショップでは、海外の CCS プロジェクトを主導する専門家から、プロジェクトの動向や技術実証状況、CCS に関わる政策等を紹介頂きます。当技術研究組合からは、実フィールドにおける光ファイバー計測技術の実証試験等、CO₂ 地中貯留技術の実用化に向けた取り組みについてご報告いたします。

1. 開催概要

日時: 2023 年 1 月 24 日（火） 10:40～17:00（10:00 受付開始）

会場: ベルサール東京日本橋 B2F ホールおよび web 配信

参加費: 無料

主催: 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

組合員: 伊藤忠商事株式会社、伊藤忠石油開発株式会社、応用地質株式会社、
石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、
三菱ガス化学株式会社、株式会社 INPEX、JX 石油開発株式会社、
国立研究開発法人産業技術総合研究所、
公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催: 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

言語: 日本語、英語（同時通訳有り）

開催案内 URL: <https://www.rite.or.jp/news/events/2022/12/ccs2023.html>

2. プログラム

モデレーター 京都大学 名誉教授 松岡 俊文

(敬称略)

	項目	演題	講演者
(10:00)	(受付開始)		
10:40～10:45	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
10:45～10:50	共催者挨拶		経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 石油・天然ガス課 企画官(CCUS政策担当) 佐伯 徳彦
10:50～10:55	共催者挨拶		国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 環境部長 上原 英司
10:55～11:00	趣旨説明		京都大学 名誉教授 松岡 俊文
11:00～11:50	講演 1	米国 CCUS 政策・技術開発 の最新動向 (仮題)	Traci Rodosta Program Manager, Critical Minerals and Coal to Products U.S. Department of Energy (DOE) / Office of Fossil Energy (米国)
11:50～13:00	昼食休憩 (ポスターセッション)		
13:00～13:50	講演 2	米国 North Dakota 州の大規模 CCUS プロジェクト (仮題)	Charles Gorecki CEO, Energy & Environmental Research Center University of North Dakota (米国)
13:50～14:40	講演 3	豪州 CCUS 政策・Otway R&D プロジェクト (仮題)	Matthias Raab CEO, CO2CRC (豪州)
14:40～15:05	休憩 (ポスターセッション)		
15:05～15:55	講演 4	海域廃ガス田への CO2 貯留・ オランダ Porthos プロジェクト (仮題)	Filip Neele Senior project manager CO2 storage, TNO (オランダ)
15:55～16:45	講演 5	CO ₂ 地中貯留の研究開発から 実用化への取り組み	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
16:45～16:55	総括		京都大学 名誉教授 松岡 俊文
16:55～17:00	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事

※プログラム中の講演者、演題等が変更になる可能性があります。

3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申し込み下さい。

(1) オンライン登録

【開催案内】 <https://www.rite.or.jp/news/events/2022/12/ccs2023.html>

【参加登録】 <https://ccs2023.net/form/>

(2) E-mail でのお申し込み

【宛先】 ccs2023@rite.or.jp

【記入事項】

- ①お名前（漢字）、②お名前（かな）、③会社名（漢字）、④会社名（かな）、⑤部署名、
- ⑥役職名、⑦お電話番号、⑧E-mail アドレス、⑨ご希望の参加方法（会場参加／web 配信）、
- ⑩今後の関連イベント案内の送付（可／不可）

(3) 参加お申し込み締め切り

会場参加を希望される場合: 2023 年 1 月 12 日（木）

web 配信を希望される場合: 2023 年 1 月 17 日（火）

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2023 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccs2023@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccs2023@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 樋口、辰巳

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

<添付資料>

CCS テクニカルワークショップ 2023 リーフレット

CCSテクニカルワークショップ2023

～ 研究開発から実用化への推進 ～

日程 2023年1月24日(火)
10:40～17:00(10:00受付開始)

会場 ベルサール東京日本橋 B2F ホール
および Web配信

「日本橋駅」B6出口直結(銀座線・東西線・浅草線)
「三越前駅」B6出口徒歩3分(銀座線・半蔵門線)
「東京駅」八重洲北口徒歩6分(JR線)

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワーB2F
ベルサール東京日本橋
https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs_nihonbashi/access/

言語 日本語、英語
同時通訳有り

参加費 無料



主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

■開催案内

<https://www.rite.or.jp/news/events/2022/12/ccs2023.html>

■申込方法

下記のサイトからお申込をお願いいたします。

<https://ccsws2023.net/form/>

会場参加申込締切: 2023年1月12日(木)

Web配信申込締切: 2023年1月17日(火)

サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項をご記入の上、
ccsws@rite.or.jpまでEメールでお申し込みください。

参加申し込み記載事項

1. お名前(漢字): 2. お名前(かな): 3. 会社名(漢字):
4. 会社名(かな): 5. 部署名: 6. 役職名: 7. お電話番号:
8. Emailアドレス:
9. ご希望の参加方法: (会場参加・Web配信)

10. 今後の関連イベント案内の送付: (可・不可)

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会場開催とWeb配信をあわせたハイブリッド方式にて開催いたします。

なお感染症対策のため会場の定員数が少なくなっており、会場参加をご希望でお申込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。

※ご提供いただいた個人情報、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

■お問合せ先

CCSワークショップ2023 事務局 Eメール: ccsws@rite.or.jp TEL: 03-5549-6911



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



二酸化炭素地中貯留技術研究組合

Geological Carbon Dioxide Storage Technology Research Association



二酸化炭素地中貯留技術研究組合には下記の法人が参画しています。

- ・伊藤忠商事株式会社 ・伊藤忠石油開発株式会社 ・応用地質株式会社 ・石油資源開発株式会社 ・大成建設株式会社
- ・電源開発株式会社 ・三菱ガス化学株式会社 ・株式会社INPEX ・JX石油開発株式会社 ・国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・公益財団法人地球環境産業技術研究機構

開催趣旨

当技術研究組合は、大規模発生源から分離回収した二酸化炭素（CO₂）を地下深部に貯留するCCS（Carbon dioxide Capture and Storage）に関するワークショップを2023年1月24日（火）に開催いたします。

CCSは、地球温暖化対策の有効な手段として期待されています。当技術研究組合では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの「安全なCCS実施のためのCO₂貯留技術の研究開発」に係る委託事業において、CO₂地中貯留の実用化に向けた技術開発に取り組んでいます。

2022年1月に「CCS長期ロードマップ検討会」が設置され、CCSの実用化・普及に向けてロードマップの策定が進められています。5月に中間とりまとめが公表され、現在、CCSバリューチェーン全体での現状コストと将来のコスト目標、政府支援のあり方、並びにCCS事業の国内法整備に向けた課題等について、具体的な検討が行われており、実用化が加速しています。そこで、本ワークショップでは、海外のCCSプロジェクトを主導する専門家から、プロジェクトの動向や技術実証状況、CCSに関わる政策等を紹介頂きます。当技術研究組合からは、実フィールドにおける光ファイバー計測技術の実証試験等、CO₂地中貯留技術の実用化に向けた取り組みについてご報告いたします。

プログラム

モデレーター 京都大学 名誉教授 松岡俊文

(敬称略)

	項目	演題	講演者
(10:00)	(受付開始)		
10:40~10:45	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
10:45~10:50	共催者挨拶		経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 石油・天然ガス課 企画官(CCUS政策担当) 佐伯 徳彦
10:50~10:55	共催者挨拶		国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 環境部長 上原 英司
10:55~11:00	趣旨説明		京都大学 名誉教授 松岡 俊文
11:00~11:50	講演1	米国CCUS政策・技術開発の最新動向(仮題)	Traci Rodosta Program Manager, Critical Minerals and Coal to Products U.S. Department of Energy (DOE) / Office of Fossil Energy
11:50~13:00	昼食休憩 (ポスターセッション)		
13:00~13:50	講演2	米国North Dakota州の大規模CCUSプロジェクト(仮題)	Charles Gorecki CEO, Energy & Environmental Research Center University of North Dakota
13:50~14:40	講演3	豪州CCUS政策・Otway R & Dプロジェクト(仮題)	Matthias Raab CEO, CO2CRC
14:40~15:05	休憩 (ポスターセッション)		
15:05~15:55	講演4	海域廃ガス田へのCO ₂ 貯留・オランダPorthosプロジェクト(仮題)	Filip Neele Senior project manager CO ₂ storage, TNO
15:55~16:45	講演5	CO ₂ 地中貯留技術実用化に向けた技術組合の取り組み(仮題)	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
16:45~16:55	総括		京都大学 名誉教授 松岡 俊文
16:55~17:00	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。